

四島新聞

千葉県浦安市立浦安中学校

進んでいく四島の汚染



こんな自然が無くなってしまうかも!
写真下、歯舞群島 写真上、国後島



秋田留島



北方領土という美しい自然をイメージする人が多いと思えます。ですがロシア人によって深刻な環境汚染が進んでいます。道路脇に生活から出たゴミや金属類のゴミが山積みになっています。またそのゴミの処理の仕方にも問題があります。焚き火を焚くだけで、工場では製造過程で出た排水を浄水処理を行わず海に流しており、排水カモメが群がっている様子も見えています。しかも、自然の美しさも減ってきています。

そして、島には野良犬や野良牛などがいてとても安全とは言えません。野良犬は狂犬病のワクチンを打っていないので危険です。このままでは世界三大漁場である、北西太平洋海域が無くなってしまうかも。

四島の水産資源

四島に住むロシア人はどのような仕事で生計を立てているのだろうか。そう疑問に思う人が多いと思います。主な産業は漁業です。上の記事で述べたように四島周辺は北西太平洋海域であり、好漁場です。サンマやカニ、イワシ、タラ、キングサーモンが捕れます。それらを工場で加工し韓国や中国などに輸出します。そして、ロシア本土に比べて給料は二倍と高給です。ですが乱獲により、捕れなくなってくる魚も出てきて、とても心配です。

返環後のメリット・心配されるマこと

返環されたら、という未来を考えた場合、島に住むロシア人はどうなるのか、若い人が定住せず人口が減る、など心配されることはたくさんあります。ですがそれ以上に良いこともあります。日本の領域が広がり、元島民も喜び、良いことづくめです。

感想

僕は今まで、北方領土問題について、最低限しか知りたが、たけなこの三日間で教科書には載ってないことや、体験談などを聞いて関心が高まりました。これからは「発信者」としての自覚を持って学校や塾などの友達にこの問題について話し、一人でも多くの人に理解してもらいたいです。